基本理念

共創による持続可能なまちをめざす拠点づくり

新庁舎の基本設計は、令和６(2024) 年３月策定の「大田市新庁舎整備基本計画」で定めた基本理念と５つの基本方針の実現を目指し、新庁舎として相応しい意匠や備えるべき性能、機能などに関する方針を整理し、具体化します。

基本方針

① 市民の利便性が高く、共生・協働の場となる庁舎

・窓口のワンストップサービスや総合案内、発券機の導入など、市民サービスの利便性を高めた、スムーズで快適に利用できる庁舎とします。
・１階は市民利用空間をまとめたフロアとし、夜間休日を含めて、個人でも団体でも多目的に利用できるようにします。

② 安全・安心で災害時に強い庁舎づくり

・安全な立地で優れた耐震性を備えた、災害に強い防災拠点とします。
・十分な非常用電源、貯水機能を持ち、災害時の司令塔として即座に災害対応が可能な業務継続機能を確保するとともに、市民の生命を守る一時避難場所としての機能も備えます。

③ 人や環境にやさしい庁舎づくり

・ユニバーサルデザインによる、誰もが分かりやすく、利用しやすい庁舎にします。
・大田市の自然特性を活かし、省エネルギーによる環境負荷低減を実現する庁舎として、基準値から 50%以上の一次エネルギー消費量削減の達成（ZEB Ready 認証の取得）を目指します。

④ 行財政改革の実現に貢献する庁舎づくり

・DX 等による業務の効率化等を踏まえた必要最小限のコンパクトな庁舎とし、将来の行政需要にあわせた変更も柔軟に行える庁舎とします。
・市民サービス向上のため、職員の働きやすさを意識し、効率的であるとともに、開放的で部署を超えたコミュニケーションが取りやすい執務環境とします。
・メンテナンスしやすい構造や汎用機器、省エネ設備を採用し、建設コストだけでなく、維持管理コストを抑えた庁舎とすることで、財政負担の軽減を図ります。

⑤ 市民に親しまれ、大田らしさが感じられる庁舎

・周辺施設と連携し、大田市駅前の憩い、交流の場となる庁舎を目指します。
・駅前の立地を活かし、官民それぞれの多様な利用を促し、共創の拠点を目指します。
・地域産材を積極的に使用し、大田市の特徴が感じられる庁舎とします。

計画施設概要

計画地	敷地面積	施設用途
島根県大田市大田町地内	6,234.18㎡	事務所

建物概要

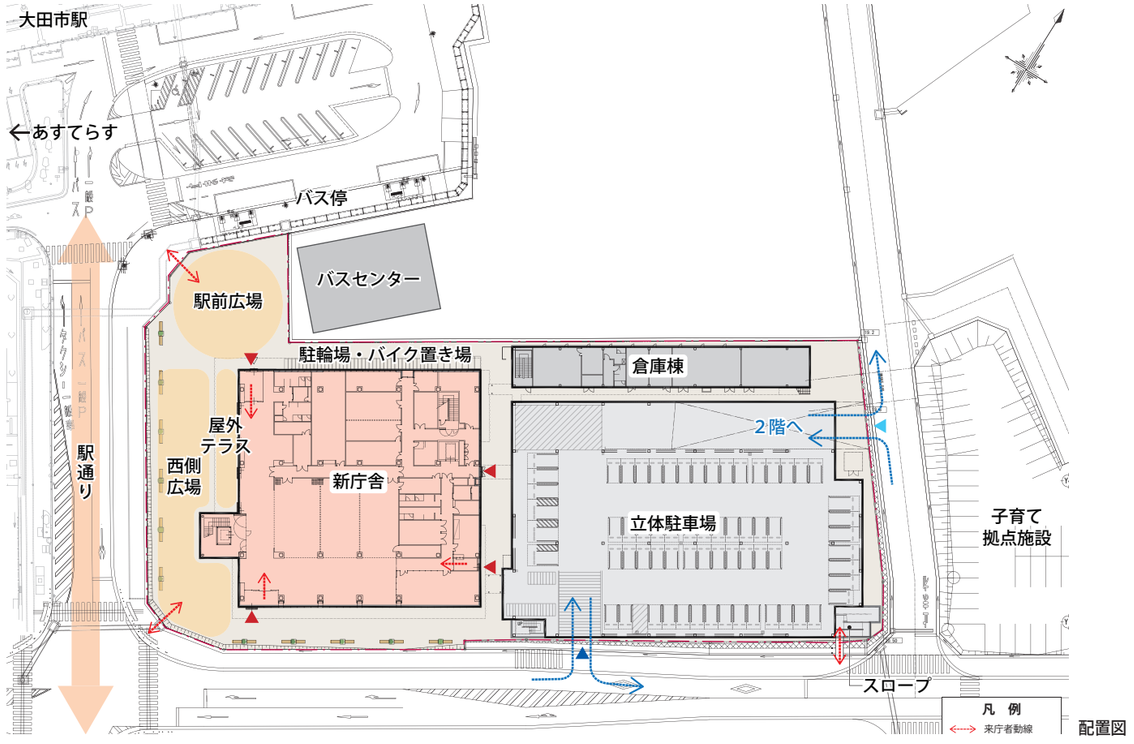
棟名称	構造	建築面積	延床面積
新庁舎	鉄骨造５階建	約1,750㎡	約6,990㎡
立体駐車場	鉄骨造２階建	約1,660㎡	約1,760㎡
倉庫棟	鉄骨造２階建	約320㎡	約640㎡

駐車台数

	来庁者用			小計		公用車			小計		駐車場全体計		
	思いやり(普)	普通	軽	普通	軽	常駐普通	常駐軽	作業用普通	普通	軽		普通	軽
立体駐車場１階	3	0	0	3	0	6	54	3	9	54	66	12	54
立体駐車場２階	2	40	18	42	18	0	0	0	0	0	60	42	18
計	5	40	18	45	18	6	54	3	9	54	126	54	72

配置計画

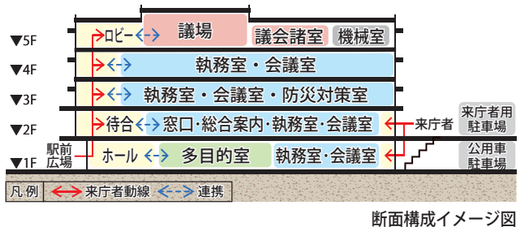
・ＪＲやバスなどの公共交通機関との接続を意識した分かりやすい動線とします。
・駅前の人の流れを踏まえた配置計画とし、駅通りに面して広場や屋外テラス、コミュニティホールといった駅前の憩い、交流の場となる機能を配置します。



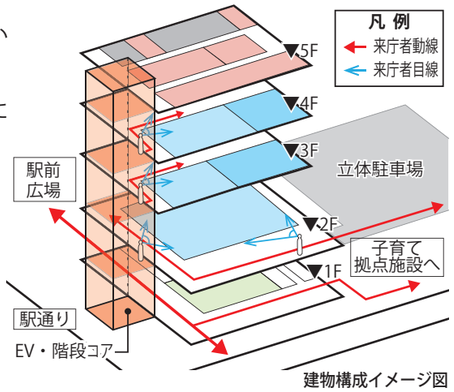
配置図

平面コンセプト

・低層階に窓口や市民利用機能をまとめた分かりやすい階構成とします。
・防災拠点としてふさわしく、ユニバーサルデザインに配慮した計画とします。



断面構成イメージ図



建物構成イメージ図

発行 大田市建設部 新庁舎整備課

基本設計に関することなど各種情報はこちら（大田市 HP）
https://www.city.oda.lg.jp/
二次元バーコード

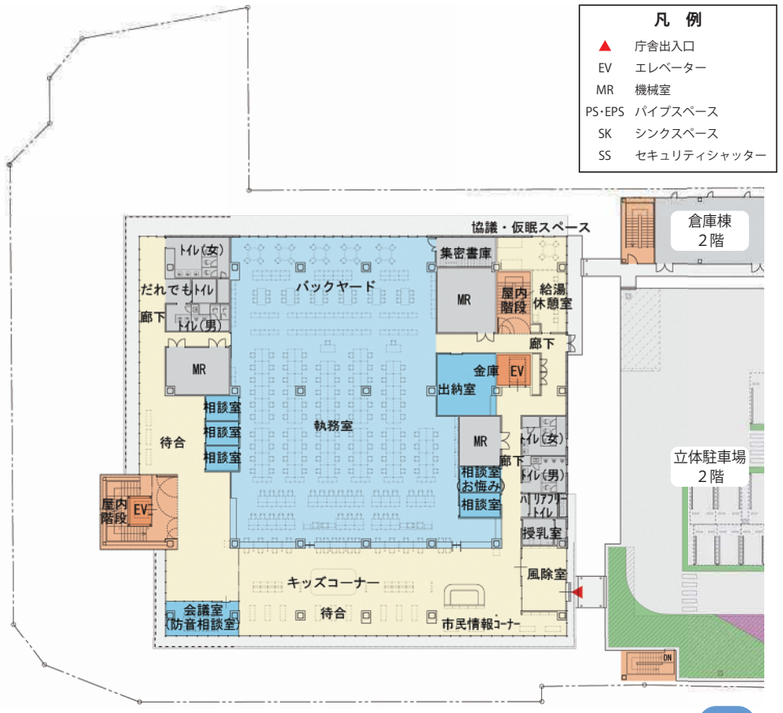
平面計画

市民利用階

1階

- １階は休日、夜間も利用できる空間とします。
- 日常的に待合や飲食、休憩、学習利用など自由に利用できる、賑やかさと落ち着きが共存する市民利用空間を目指します。
- 自由に使える屋外テラスやホール、イベント利用もできる多目的室、飲食の自動販売機など、交流を促し、様々な使い方ができる機能を設けます。

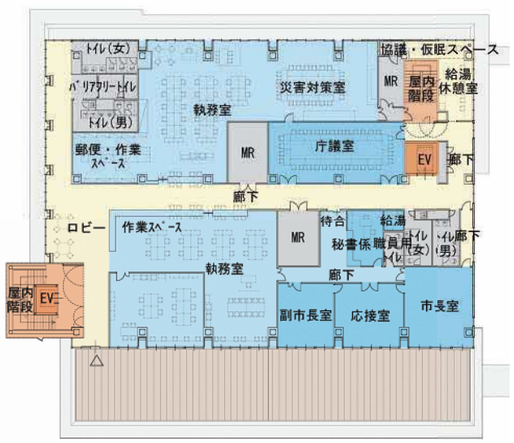
窓口階

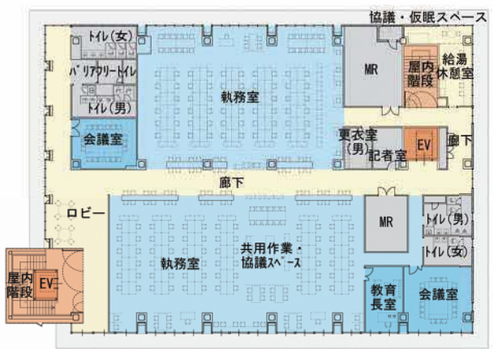


2階

- ワンストップサービスを導入し、市民が快適、スムーズに利用できる窓口とします。
- 駐車場から段差なくアクセスできるバリアフリーの構造とします。
- ゆったりとした空間の待合とするとともに、総合案内や発券機を設置し、迷わず快適に手続ができる環境とします。

執務室階

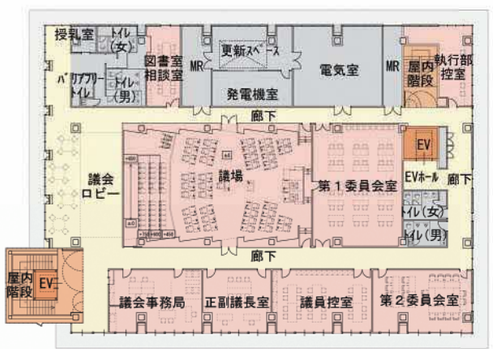




4階

- 柔軟にレイアウトが変更でき、コミュニケーションが取りやすく、業務に合わせて効率的に働ける場が選べる執務室とします。

議場階



5階

- 議会専用階として、独立性を確保しつつコンパクトな間取りとします。

市民利用のイメージ

日常的に待合や飲食、休憩など自由に利用できるコミュニティホール

1F：コミュニティホールの利用イメージ

コミュニティホールと一体利用可能な、多様な場面に柔軟に対応できる多目的室

1F：多目的室の利用イメージ

市民が「快適」「スムーズ」と感じられるワンストップ窓口

2F：窓口・待合の利用イメージ

今後のスケジュール

想定事業スケジュールは次に示すとおりであり、令和 13 年度の供用開始を目指します。

R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度以降
基本設計	実施設計		建設工事			供用開始（維持管理）

※現在、想定されるスケジュールであり、今後の詳細検討によって変更する可能性があります。